

第4回 LCIF 国際委員エリア・MD コーディネーター会議要録

日 時：2017 年 12 月 19 日（火） 13：00～17：20

場 所：キャッスルプラザ名古屋

出席者：

LCIF 国際理事	L.鈴木誓男
LCIF エリアコーディネーター（東日本担当）	L.大石 誠
LCIF エリアコーディネーター（西日本担当）	L.榎本舜治
330 複合地区 LCIF コーディネーター	L.安達成功
331 複合地区 LCIF コーディネーター	L.小野寺眞悟（欠席）
332 複合地区 LCIF コーディネーター	L.渡邊 豊
333 複合地区 LCIF コーディネーター	L.中嶋正昭
334 複合地区 LCIF コーディネーター	L.加藤助太郎
335 複合地区 LCIF コーディネーター	L.北畑英樹
336 複合地区 LCIF コーディネーター	L.橋本充好
337 複合地区 LCIF コーディネーター	L.増田敏雄
元国際会長	L.山田實紘（ゲスト）
国際理事	L.中村泰久（ゲスト）
LCIF 日本事務所事務局員	平岩ひろみ、堀郁世

議事進行： LCIF エリアコーディネーター

L.榎本舜治

▶鈴木 LCIF 国際理事は、同日開催されたライオンズクエスト会議出席のため中座。また、来年度発足される新 LCIF キャンペーンに関する説明のため、クエスト会議終了後、山田元国際会長、中村国際理事らも出席された。

報告事項：

1. エリアコーディネーターによる挨拶および報告

大石 AC：今期の MDC の尽力に対する謝辞。先日新会員と話す機会があったが、LCIF の認知度が低いと感じた。LCIF に関する概要を説明したところ、良好な反応を得られた。丁寧な説明によって理解を得られる可能性が多く残されているため、今後も LCIF の啓発活動を頑張りたい。

榎本 AC：今年度 11 月までの LCIF 寄付実績を報告。前年対比 1 割減、6MD が前年対比減。昨年度総額の 86%が MJF 寄付であることから、MJF 口数の減少（-10%）が大きな原因。クラブ参加率は現在 55%だが、会員の参加率は 20%（※子会員除く）と低いことから、目標額達成のためには、MJF 寄付の推進が重要。セミナーでは LCIF の説明だけでなく、MJF 1 口以上の寄付の呼びかけもしてほしい。

正しい情報伝達のために、クラブ LCIF コーディネーターの設置・登録を推進してほしい。

MDC が複合地区 LCIF 委員長を兼務している場合は、準地区の LCIF 委員長を招集して会議ができる。今後の組織運営の参考にしてほしい。

2. MD コーディネーターによる活動報告

会議に先立ち、各 MDC に担当地区の MJF 0 クラブ、分割 MJF0 クラブ、寄付 0 クラブのリストを作成し、地区毎の参加率を算出していただいた。その資料を基に、各地区の寄付状況が報告された。

- 加藤 334MDC：A 地区では ZC を招集し初期目標値を達成するように呼びかけた。2 月に複合 LCIF 委員会の際に、改めて進捗状況を共有する。今期 11 月末時点の状況を各地区に報告し目標達成に向けて活動していただく。
- 北畑 335MDC：12/6 の地区コーディネーター（以下 DC）会議で情報交換をした。ZC への全クラブの支援要請、プロモーションビデオや募金箱の送付、バースデー MJF の推進、一人当たり 100 ドル寄付の推進など、各地区それぞれの方法で目標達成に取り組んでいる。支援呼びかけを繰り返しても、理解しようとしめない会員が一定数いる。これまでも十分過ぎるほど支援要請をしているので、新キャンペーン発足の際に、現在の協力者らから反発があるのではと懸念している。慎重に行う必要がある。
- 橋本 336MDC：改めて LCIF レポート（Recap of Donations）を見て寄付ゼロクラブの多さに驚いた。準地区間で LCIF 支援への意欲の差が大きい。昨年度末に 3 役スクール（B 地区はキャビネット会議）にて LCIF の説明をしたが、効果が見られないようであれば、次年度が始まる前にガバナーエレクトを招集し、各地区の目標を提示することを検討している。1 月の DC 会議で今回のデータを共有し、ゼロクラブ対策の考案をお願いする予定。

（榎本 AC）LCIF レポート（毎月 10 日前後に各 LCIF MDC・DC に送付される LCIF 寄付状況レポート 3 種）をガバナー、DC にも必ず確認してもらいたい。MDC は DC と更なる連携を。また、ガバナーや RZ、ZC などリーダーらが寄付をしていないと、他の会員らの意識低下につながるため、リーダーらへの呼びかけも重要。

- 増田 337MDC：榎本 AC が作成された PPT 資料を使用して各準地区でプレゼンを行った。大口寄付者・クラブがある地区もあれば、LCIF に対する認識が低い地区もある。改善策として、ガバナー公式訪問の際に LCIF 支援を呼びかけてもらうよう依頼する。

九州北部豪雨災害（337-A/B 地区）に交付された LCIF 大災害援助交付金については、具体的な報告はまだ受けていない。A 地区では交付金の一部を使用して、小型トラックと配布用の携帯電話機能付きラジオを購入。B 地区では義援金から使用しており、LCIF 交付金は未使用。交付金承認後に発生した同地区内の別の水害被害に LCIF 交付金を充てることを検討している。

（榎本 AC）情報が全体に伝わる組織づくりと、リーダーへの情報伝達、また大口寄付者を大切にすることが重要。大災害援助交付金については、具体的な事業計画を LCIF に提出してほしい。交付金使用条件を満たしているかは LCIF 本部が判断する。被災地支援には、まず LCIF 交付金を使用できる事業を決め、その後交付金を使用できない部分に義援金を充てるのがよい。

- 渡邊 332MDC：ガバナーやクラブ会長などリーダーに協力いただくのが底上げになるのでは。ガバナーの寄付額が準地区の実績と比例しているように思う。各準地区の第一・第二副地区ガバナーらと会議を開いた際、自地区の実績や交付金について認知度をアンケート調査したが、LCIF の認知の弱さを実感した。下半期に大石 AC を招聘し LCIF セミナーを開催する予定。
- 中嶋 333MDC：議長、ガバナーに継続的に資料等情報を提供している。3 月に複合全体で LCIF 研修会を開催、また準地区のセミナーにも出席する予定。キャビネット会議で LCIF に関する議題が上がらない。ガバナーや RC に LCIF 支援の呼びかけをお願いしたい。
- 安達 330MDC：B 地区では LCIF 委員会を頻繁に開催しており、その結果が単位クラブに浸透し参加率に表れているのでは。周年クラブに LCIF 記念寄付を勧めていく。また、寄付の意志がありながらまだ済んでいない個人の方々に、春頃からお願いをしていく。330-A 地区ではキャビネット事務局が献金会員献金をまとめて送金・報告していたが、本部職員がその方法にストップをかけていたため、その分が今期の実績（寄付額・参加率）に影響を及ぼしている。近々解決し、実績にも反映される予定。

3. 交付金プログラムの変更について

国際援助交付金（IAG）は、2017 年 12 月までに事業終了の必要あり。交付金の新体系、クラブシェアリングについては、2018 年 1 月の LCIF 理事会の決議報告後に通達する。交付金申請には、ガバナーの署名とキャビネット会議の承認が必ず必要。この意味と重要性を申請地区はよく認識してほしい。

（鈴木理事）交付金の承認には各種条件があるため、各地区は申請書を提出する前に DC を通じて必ず MDC に相談し、MDC は申請内容をよく検討するようにしてほしい。

4. LCIF 新キャンペーンについて

(鈴木理事) 来年度から正式に開始する LCIF キャンペーンについて、オセアル会則委員長にマグネット・リン ID が、会則副会長に中村 ID が就任された。

(中村 ID) 「皆様のご協力をお願いします。」

キャンペーンのテーマ、タイトル、PR 方法について、山田 PIP を交え、忌憚のない意見が交わされた。

5. 2018-2019 年度 LCIF 理事長公式訪問の日程について

鈴木理事より、来年度の LCIF 理事長公式訪問の日程は、名古屋にて 7 月下旬～8 月上旬で調整中であると報告された。

6. 協議事項

- LCIF50 周年記念コンテストについて：今月から五か月間にわたり、毎月一言語一名の当選者に 50 周年記念限定メダルが贈られる。参加要請していくことにした。
- 新しい交付金プログラムおよびクラブシェアリングについて：現時点では未決定の部分も多いため、1 月の LCIF 理事会決議報告を待つ。混乱を防ぐため、変更・決定事項は公式文書で流すようにしてほしいと鈴木理事に依頼した。
- LCIF が発行している各資料中の「献金」という用語を「寄付」に変更・統一する件について、鈴木理事に再確認・報告いただくことにした。
- MJF3 口以上寄付者への理事長感謝状は、地区からの要望を受け、今年度も交付することに決定した。
- 書籍『LCIF 早分かり』は、今後印刷版の発行はせず、デジタル版の利用・更新が可能となるようにしていくことで了承された。
- ライオン誌 12 月号『獅子吼』に、LCIF に関する記事を投稿された L.武田正勝（福岡城南 LC）にヘルピング・ハンズ・アワード贈呈を提案。鈴木理事に要請した。
- ライオン誌 3-4 月号の LCIF FILE は、中嶋 333MDC に執筆依頼した。承認。
- 交付金需要が増えたこともあり、現在の LCIF は、寄付金額の定率（25%）を投資していない。セミナー等においてこのような説明は今後しないこと。LCIF の財務状況については LCIF 年次報告書を参照するよう再確認した。

7. 次回会議日程

第 5 回 MDC 会議 1 月 26 日（金）

第 6 回 MDC 会議 5 月 16 日（水）

現・次期 MDC 引継ぎ会 5 月 17 日（木） LCIF 本部職員（開発課、交付金担当者）、
キャンペーン役員に出席依頼予定

以上